

「文化芸術活動における 契約関係についてのアンケート」 調査結果について



令和4年2月3日

文化庁 文化経済・国際課

1. 調査の概要

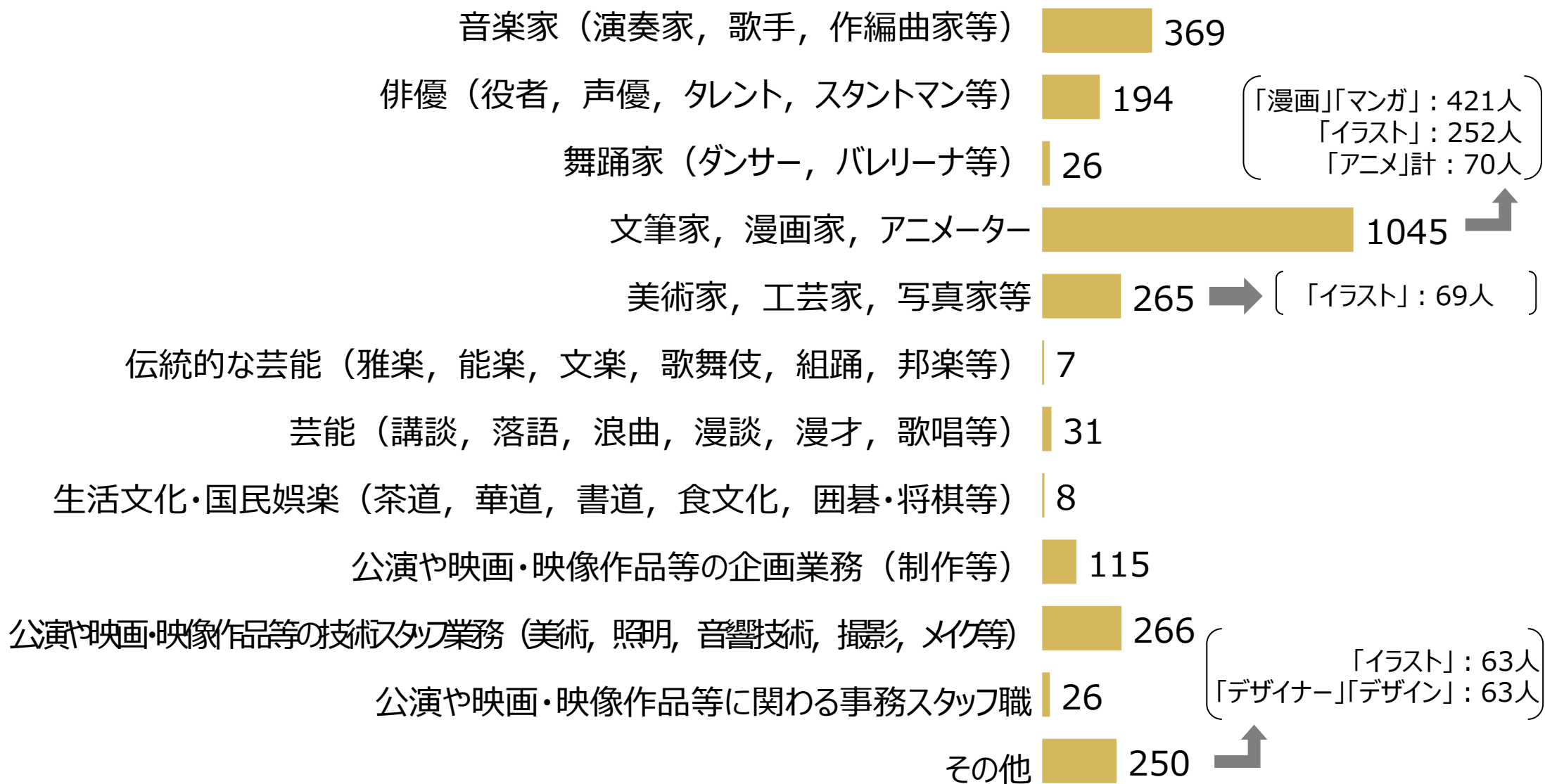
名称	文化芸術活動における契約関係についてのアンケート
目的	「文化芸術分野の適正な契約関係構築に向けた検討会議」での議論の参考とするため現場における契約関係の実態を把握するとともに、今後の施策等に活用するため
対象	文化芸術分野において、個人で活動している芸術家等
期間	令和3年12月17日（金）～令和3年12月27日（月）
手法	文化庁ホームページ上のオンラインフォーム
周知方法	文化庁ホームページ等での周知，文化芸術関係団体・関係者への協力依頼
有効回答	2633件

2. 調査の項目

- 契約関係において生じている課題，問題点等
- 契約に関する実態，その他

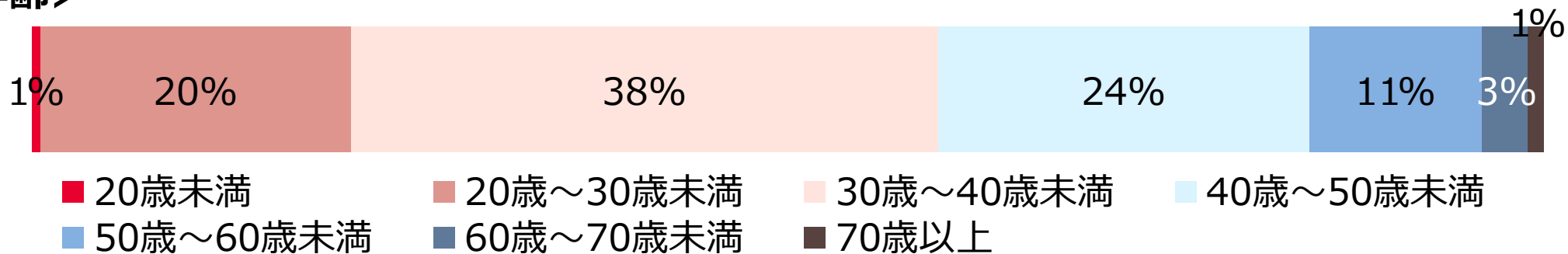
（注）本調査では、各設問において無回答を可としている。集計対象からは無回答を除外しているが、割合の計算にあたっては、全体では2633件を、職業別等ではそれらの回答者数をそれぞれ母数としているため、足し上げた際に100%にならないことがある。また、割合については、表示上小数点第一位もしくは第二位で四捨五入をしているため、足し上げた際に100%にならないことがあるほか、「○ポイント以上高い」等の色分けにおいて、表示上の数値の差と枠の色が異なる場合がある。

回答者属性 (1) 職業

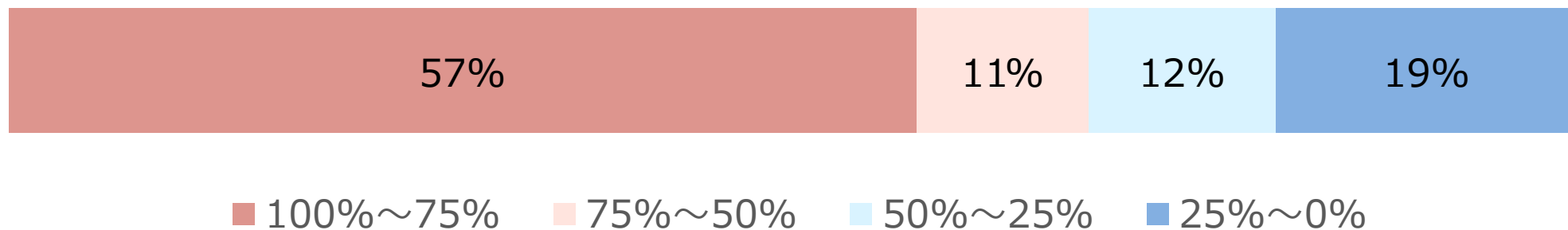


回答者属性（2） 年齢、文化芸術活動の収入、取引形態

<年齢>



<文化芸術活動からの収入割合>

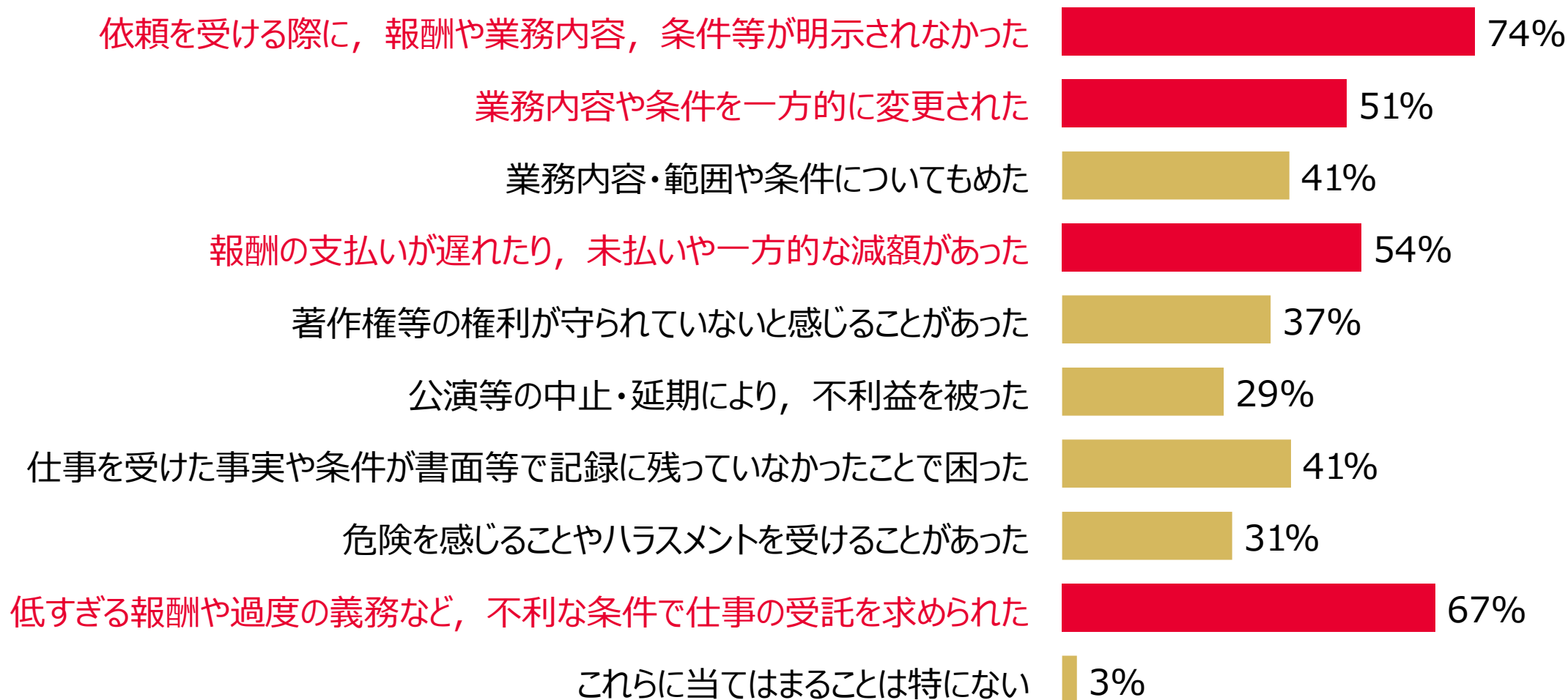


<主たる取引形態>



(1) 依頼者や発注者との関係

- 「依頼時に報酬等の明示なし」「不利な条件での受託」「支払い遅延・未払い・減額」「業務内容等の一方的な変更」が多い



(1) 依頼者や発注者との関係（職業別）

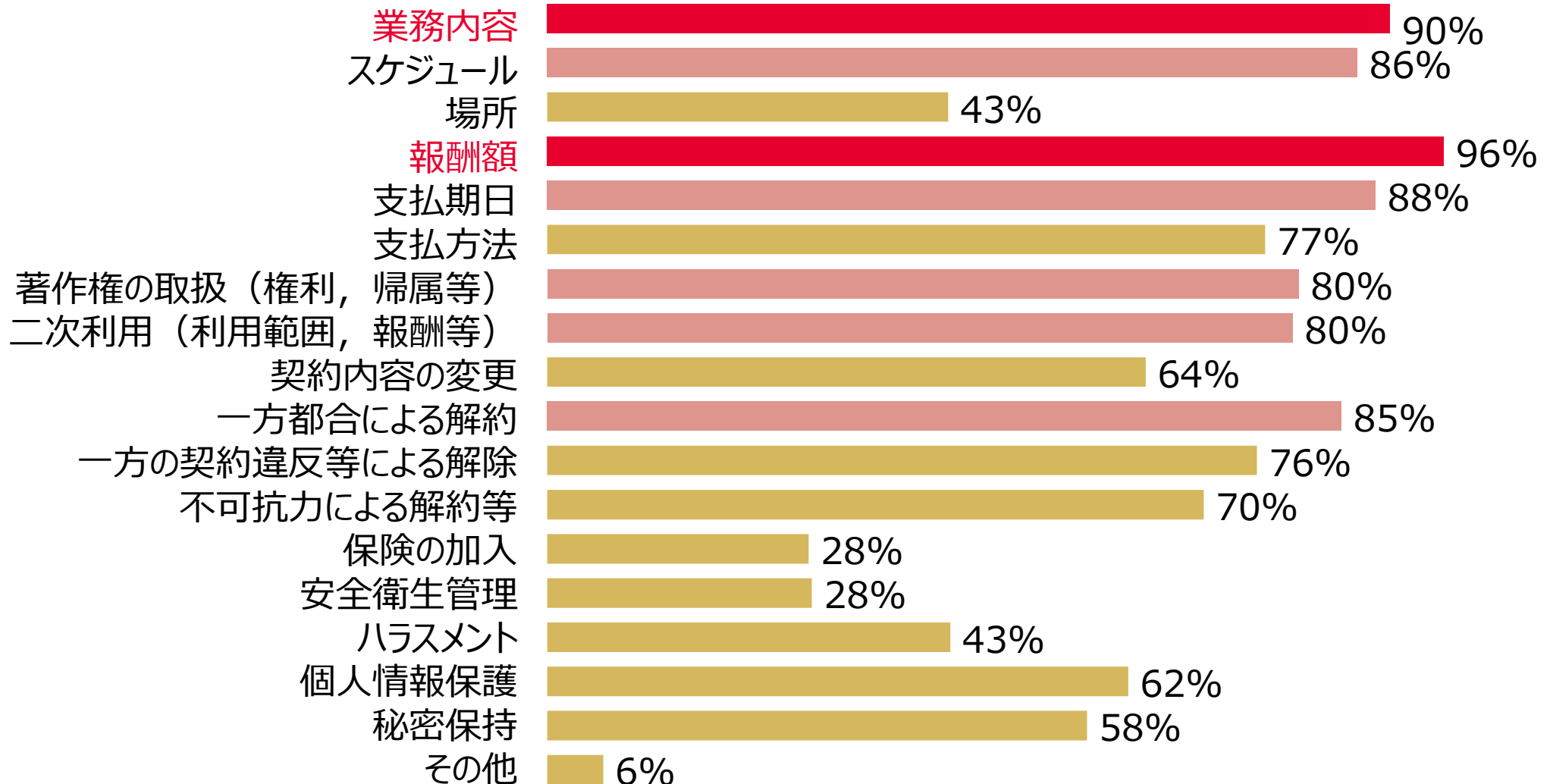
- 「依頼時に報酬等の明示なし」「中止・延期による不利益」は音楽家、俳優、舞踊家、芸能、企画制作、技術スタッフ等が多い
- 「支払い遅延・未払い・減額」「危険業務・ハラスメント」は俳優、技術スタッフに多い

	全体	音楽家	俳優	舞踊家	文筆家 漫画家 アニメーター	美術家 工芸家 写真家	伝統芸能	芸能	生活文化 国民娯楽	企画 制作	技術 スタッフ	事務 スタッフ	その他
n=	2633	369	194	26	1045	265	7	31	8	115	266	26	250
依頼時に報酬等の明示なし	74%	79%	81%	81%	70%	71%	100%	81%	88%	92%	79%	62%	69%
業務内容等の一方的な変更	51%	51%	52%	50%	52%	48%	71%	35%	50%	50%	52%	54%	52%
業務内容等についてもめた	41%	37%	39%	27%	41%	39%	29%	26%	38%	45%	45%	35%	42%
支払い遅延・未払い・減額	54%	55%	62%	31%	47%	57%	57%	52%	75%	55%	68%	58%	54%
権利が守られていない	37%	38%	30%	19%	39%	45%	14%	29%	50%	30%	27%	23%	45%
中止・延期による不利益	29%	55%	39%	23%	14%	20%	86%	61%	25%	37%	55%	35%	17%
記録がなくて困った	41%	36%	44%	42%	41%	45%	57%	26%	63%	47%	43%	46%	38%
危険業務・ハラスメント	31%	28%	52%	27%	25%	25%	71%	26%	63%	37%	43%	46%	29%
不利な条件での受託	67%	62%	76%	46%	69%	67%	71%	42%	50%	65%	68%	54%	67%
上記に該当なし	3%	4%	4%	0%	2%	3%	0%	3%	0%	1%	2%	4%	4%

全体と比べて10ポイント以上低い、5ポイント以上低い、5ポイント以上高い、10ポイント以上高い、で色分け
 (伝統芸能と生活文化・国民娯楽は、回答者数が少ないため参考値)

(2) 契約書に記載／契約時に提示されることが望ましい項目

- 「報酬額」「業務内容」が90%以上
- 次いで優先順位が高いのは「支払期日」「スケジュール」「一方都合による解約」「著作権の取扱い」「二次利用」で、80%以上



(3) 「契約書に記載／契約時に提示されることが望ましいと思う項目について、当てはまるものすべてを選択してください。」（複数回答）への回答結果を集計

(2) 契約書に記載/契約時に提示されることが望ましい項目 (職業別1)

- 全体として回答が多い「業務内容」「報酬額」「支払期日」は、職業による差は少ない
- 「場所」は依頼によって業務を行う場所が変わる音楽家、俳優、舞踊家、芸能、技術スタッフはニーズが高く、文筆家等、美術家等にとってはニーズが低い

	全体	音楽家	俳優	舞踊家	文筆家 漫画家 アニメーター	美術家 工芸家 写真家	伝統芸能	芸能	生活文化 国民娯楽	企画 制作	技術 スタッフ	事務 スタッフ	その他
n=	2633	369	194	26	1045	265	7	31	8	115	266	26	250
業務内容	90%	91%	92%	96%	90%	92%	100%	94%	100%	90%	86%	81%	92%
スケジュール	86%	89%	95%	96%	80%	89%	100%	90%	100%	90%	92%	81%	90%
場所	43%	65%	68%	54%	25%	46%	71%	87%	50%	51%	62%	35%	34%
報酬額	96%	93%	97%	100%	96%	97%	100%	100%	100%	96%	96%	92%	96%
支払期日	88%	84%	88%	92%	89%	94%	100%	84%	100%	87%	88%	85%	88%
支払方法	77%	72%	76%	69%	80%	80%	86%	90%	100%	68%	69%	62%	80%
著作権の取扱 (権利, 帰属等)	80%	70%	74%	77%	90%	89%	43%	71%	100%	75%	52%	69%	88%
二次利用 (利用範囲, 報酬等)	80%	73%	78%	62%	88%	89%	57%	74%	100%	66%	54%	58%	86%
契約内容の変更	64%	59%	68%	73%	68%	65%	57%	58%	88%	61%	54%	58%	64%

全体と比べて10ポイント以上低い、5ポイント以上低い、5ポイント以上高い、10ポイント以上高い、で色分け
(伝統芸能と生活文化・国民娯楽は、回答者数が少ないため参考値)

(2) 契約書に記載/契約時に提示されることが望ましい項目 (職業別2)

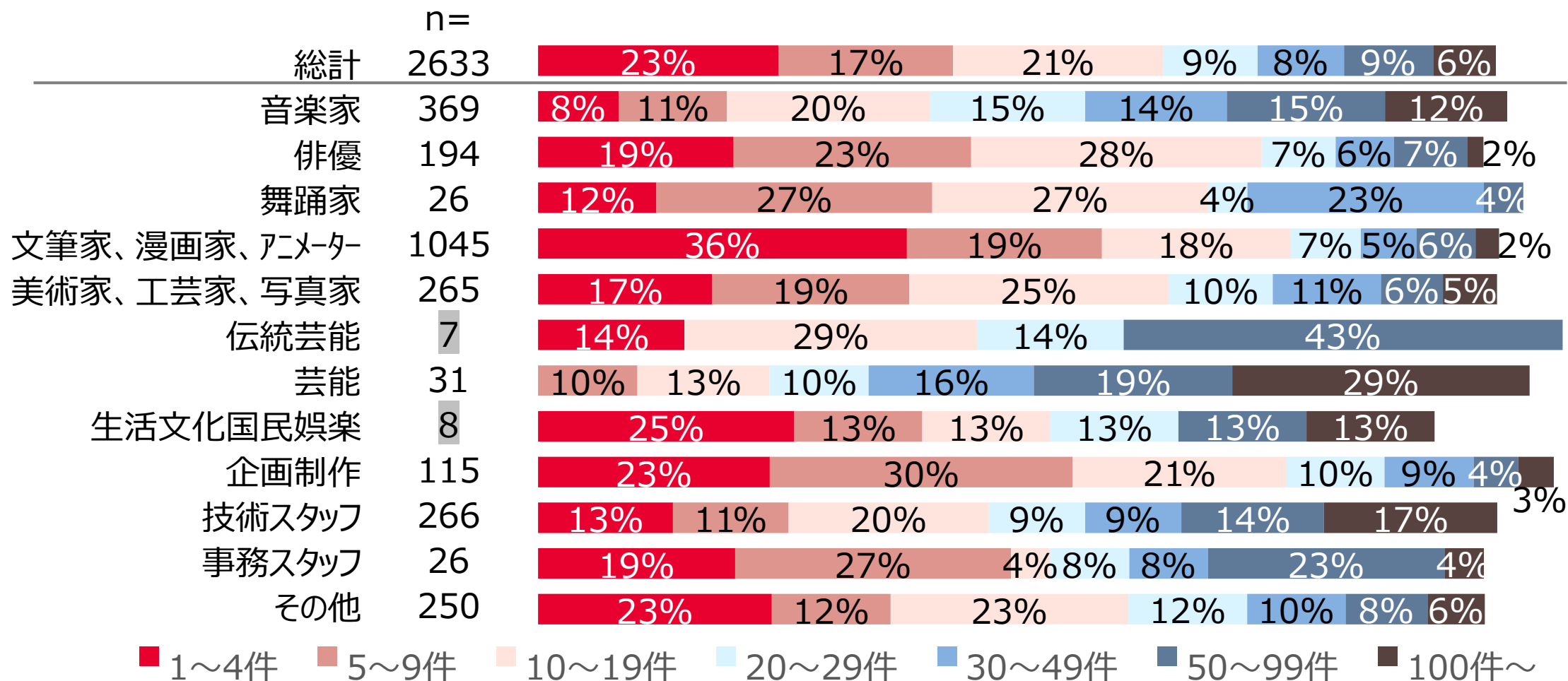
- 解約・解除については、職業による差は少ない
- 「保険の加入」「安全衛生管理」は全体では低いが、職業別だと、俳優、舞踊家、企画制作、技術スタッフが多い
- 「ハラスメント」が俳優と企画制作が多い

	全体	音楽家	俳優	舞踊家	文筆家 漫画家 アニメーター	美術家 工芸家 写真家	伝統芸能	芸能	生活文化 国民娯楽	企画 制作	技術 スタッフ	事務 スタッフ	その他
n=	2633	369	194	26	1045	265	7	31	8	115	266	26	250
一方都合による解約	85%	80%	85%	88%	87%	85%	86%	81%	100%	88%	84%	81%	85%
一方の契約違反等による解除	76%	70%	78%	65%	79%	78%	71%	71%	75%	76%	71%	69%	79%
不可抗力による解約等	70%	66%	74%	58%	71%	69%	57%	61%	75%	73%	69%	85%	72%
保険の加入	28%	22%	50%	46%	20%	28%	14%	23%	13%	43%	50%	35%	24%
安全衛生管理	28%	26%	56%	38%	19%	25%	14%	23%	25%	40%	52%	19%	26%
ハラスメント	43%	32%	68%	42%	42%	38%	29%	19%	63%	57%	48%	35%	45%
個人情報保護	62%	46%	69%	46%	68%	63%	57%	39%	75%	64%	56%	65%	68%
秘密保持	58%	40%	61%	46%	65%	56%	43%	32%	63%	60%	48%	58%	66%
その他	6%	5%	6%	8%	6%	8%	0%	3%	0%	7%	4%	4%	8%

全体と比べて10ポイント以上低い、5ポイント以上低い、5ポイント以上高い、10ポイント以上高い、で色分け
(伝統芸能と生活文化・国民娯楽は、回答者数が少ないため参考値)

(3) 契約の実態について①年間の契約件数

- 契約件数が少ないのは文筆家等と企画制作で、年間10件未満が約50%
- 契約件数が多いのは芸能で、年間20件以上が約75%、100件以上も約30%
- また、音楽家は年間20件以上が約55%、技術スタッフも同約50%と多い



(4) 「あなたが1年間に交わす契約件数を教えてください。(口頭やメール、メッセージ等での約束・合意を含みます) (期間や公演数等に関わらず、1つの企画・プロジェクトへの関わりを1件とカウントしてください。)」(自由記述)への回答結果を集計
 なお、範囲のある書き方での回答については、その平均値に変換してカウント(例: 10~20件→15件)

(3) 契約の実態について②契約期間の最短と最長

- 契約の最短期間は、一番短い回答は「5分」、1日単位が多く、「1日」との回答が約20%
- 契約の最長期間は、「終期の定めなし」と同等の回答が約10%、年単位が多く、「1年」との回答が12%

<最短>

	(件数)	(%)	回答例
分単位での回答	24	0.9%	5分～90分
時間単位での回答	244	9.3%	0.5時間～24時間
1時間との回答	61	2.3%	
2時間以下との回答	127	4.8%	
日単位での回答	937	35.6%	1日～60日
1日との回答	549	20.9%	
週単位での回答	323	12.3%	1週間～3週間

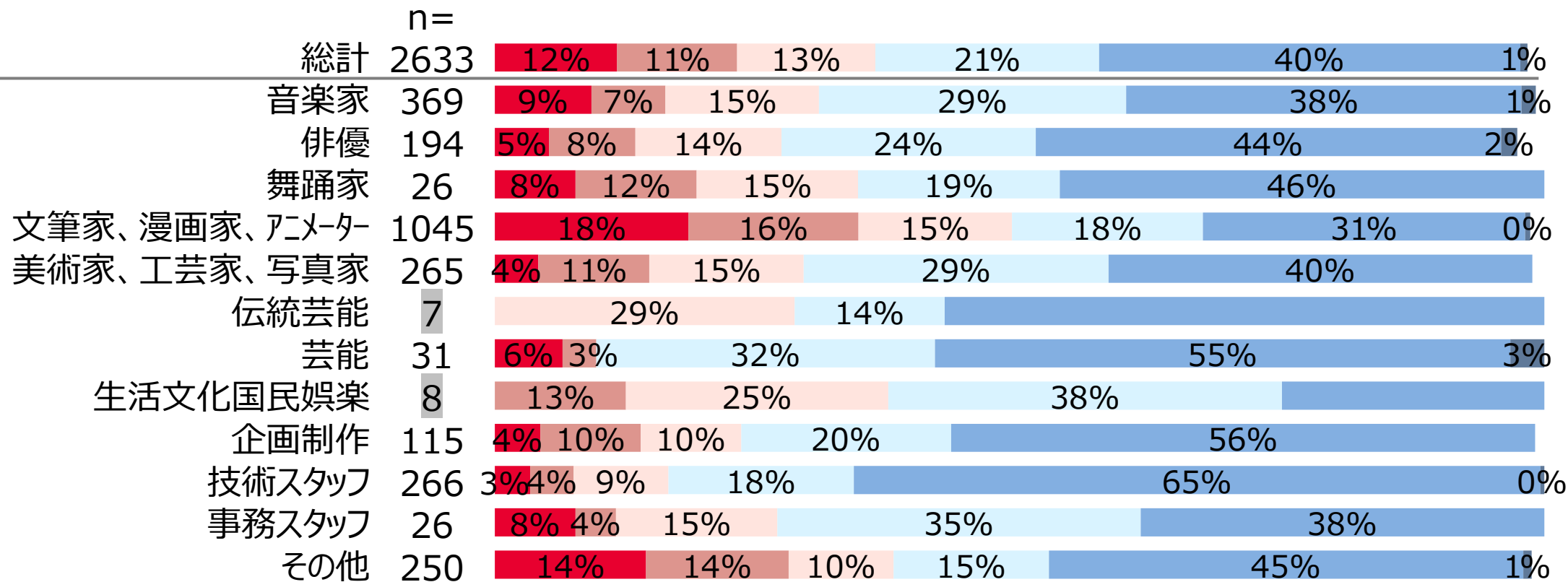
<最長>

	(件数)	(%)	回答例
終期の定めなし	295	11.2%	終期なし、連載終了まで等
年単位での回答	994	37.8%	半年～数十年
1年との回答	317	12.0%	
10年以上との回答	57	2.2%	
月単位での回答	698	26.5%	半月～3年〇ヶ月
自動更新との回答	26	1.0%	1年（自動更新）等

(5) 「あなたが過去に受けた契約・依頼のうち、契約期間が最短のものと、最長のものについて、それぞれの期間を教えてください。(単位もご記入ください(時間/日/週/月/年/終期なし等))」(自由記述)への回答結果から抽出

(3) 契約の実態について③書面化の割合

- 「ほとんど書面を交わさない（1割以下）」が全体では40%、職業別では技術スタッフが65%と多い
- 「ほとんど書面を交わさない（1割以下）」と「書面を交わさないことの方が多い（4割～1割程度）」の合計は全体で約60%、職業別では芸能が約90%と多い
- 「ほとんどの場合書面を交わしている（9割以上）」は全体では12%、職業別では文筆家が約20%



- ほとんどの場合書面を交わしている（9割以上）
- 書面を交わすことと交わさないことが同程度（6割～4割程度）
- ほとんど書面を交わさない（1割以下）
- 書面を交わしていることの方が多い（9割～6割程度）
- 書面を交わさないことの方が多い（4割～1割程度）
- わからない

(6) 「契約の全体件数のうち、書面（契約書、受発注書等名称は問わない）を交わしている割合はどの程度ですか。」（単一回答）への回答結果を集計

(3) 契約の実態について④契約書がある場合、ない場合

<契約書がある場合>

取引先	法人の場合、大手企業の場合、国や自治体の場合、初めての取引先、複数者が関わる場合 等
取引規模が大きい場合	契約期間が長い場合、報酬額が高い場合 等
内容面	著作権が関係する場合、印税等の継続収入がある場合、秘密保持契約がある場合 等
その他	海外案件、自分（受注側）から求めた場合、全ての場合契約書を交わしている 等

<契約書がない場合>

分類	回答例
取引先	個人の場合、小規模な企業の場合、長い取引実績がある場合、知人 等
取引規模が小さい場合	短期間の場合、報酬が少ない場合、単発の仕事 等
その他	業界の慣習として契約書を交わさない、口頭・メール等での連絡のみ、仲介サイトを通じた仕事、ほとんどの場合契約書はない 等

(7)「業務期間や内容、報酬額等によって、契約書（書面）の有無が分かれますか。そのように感じる方は、どのような場合に契約書があって、どのような場合に契約書がない（口頭やメール等のみ）という認識・印象か、具体的にご記入ください。」（自由記述）への回答結果から抽出

(4) 適正な契約関係構築に必要なサポートや取組

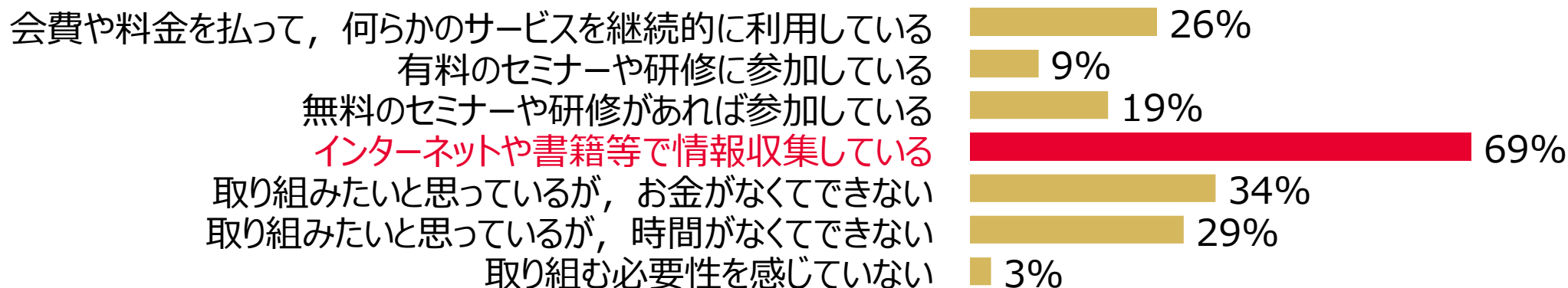
回答例	(件数)	(%)
契約書の「テンプレート」「フォーマット」「ひな型」等	247	9.4%
「相談」窓口・機関の設置	233	8.8%
「法律」「罰則」「法整備」	151	5.7%
契約書や条件提示の「義務」化	132	5.0%
「弁護士」「行政書士」「司法書士」「専門家」の紹介やアクセス	88	3.3%
「講習」「セミナー」「勉強会」「学べる」場や機会の提供	53	2.0%
発注側への「指導」「教育」	67	2.5%
「ガイドライン」「指針」	44	1.7%
報酬や時間の「基準」	36	1.4%
「事例」の紹介、公表	17	0.6%

(9) 「文化芸術分野における、適正な契約関係（契約の書面化等）の構築に向けて、どのようなサポートや取組があればいいと思いますか。」（自由記述）への回答結果から抽出

(4) その他①事業環境改善のための取組、実感

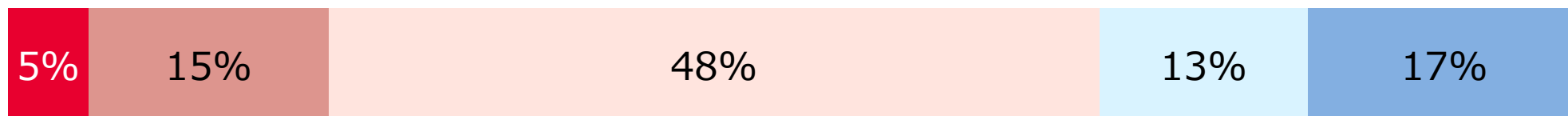
- 「インターネットや書籍等で情報収集している」が一番多く、約70%
- 「取り組みたいと思っているが、お金がなくてできない」「取り組みたいと思っているが、時間がなくてできない」がそれぞれ30%前後
- 事業環境については、「良くなっている」「やや良くなっている」の合計が20%、「やや悪くなっている」「悪くなっている」の合計が30%

<事業環境改善のための取組>



(10) 「あなたが個人で仕事をする上で必要な事務作業や手続きに関して、外注したり知識を得たりしていますか(例: 経理や税務, 法律等)。取り組んでいることがあれば教えてください。」(複数回答)への回答結果を集計

<事業環境改善の実感>



■ 良くなっている ■ やや良くなっている ■ どちらとも言えない ■ やや悪くなっている ■ 悪くなっている

(11) 「直近1年間をそれ以前と比較した時に、あなたの周りの事業環境は良くなっていると感じますか。」(単一回答)への回答結果を集計

(4) その他②組織への参加・所属等

- 全体としては、「全て個人で仕事をしている」人が70%以上
- 「全て個人で仕事をしている」は芸能、俳優、舞踊家に少なく、文筆家等、美術家等に多い
- 「協会組織」へ参加・所属している人は、俳優が少なく、芸能、技術スタッフ、音楽家に多い
- 「劇団等の芸術活動を行う団体」へ参加・所属している人は、俳優、舞踊家に多い
- 「個人マネージャー等を依頼している」は全体的に低い

	全体	音楽家	俳優	舞踊家	文筆家 漫画家 アニメーター	美術家 工芸家 写真家	伝統芸能	芸能	生活文化 国民娯楽	企画 制作	技術 スタッフ	事務 スタッフ	その他
n=	2633	369	194	26	1045	265	7	31	8	115	266	26	250
専門職能の維持・向上，文化芸術の振興を目的とする協会組織	13%	21%	6%	12%	9%	10%	29%	65%	38%	14%	26%	15%	9%
劇団，楽団，舞踊団，同人会など文化芸術創造活動を進める組織	6%	11%	27%	23%	1%	1%	29%	10%	0%	12%	5%	8%	2%
個人の仕事を紹介・仲介・プロモートするプロダクション・事務所	12%	17%	41%	15%	9%	11%	0%	13%	0%	7%	4%	4%	13%
個人マネージャー，弁護士などを依頼している	2%	2%	3%	4%	2%	3%	0%	3%	0%	4%	2%	4%	2%
全て個人で仕事をしている	73%	65%	41%	54%	82%	81%	86%	32%	75%	70%	69%	65%	75%

全体と比べて10ポイント以上低い、5ポイント以上低い、5ポイント以上高い、10ポイント以上高い、で色分け
(伝統芸能と生活文化・国民娯楽は、回答者数が少ないため参考値)

(16) 「あなたは文化芸術活動を続ける上で必要な組織に参加，所属あるいは業務委託をしていますか。」(複数回答) への回答結果を集計

文化芸術活動における契約関係についてのアンケート

文化庁では、今年度「文化芸術分野の適正な契約関係構築に向けた検討会議」を設置し、文化芸術の担い手である芸術家等が安心・安全な環境で業務に従事できるよう、適正な契約関係の構築に向けた検討を進めているところです。

この度、検討会議での議論の参考とするため現場における契約関係の実態を把握するとともに、今後の施策等に活用させていただくため、アンケートを実施します。対象の皆様のご協力をお願いいたします。

対象：文化芸術分野において、個人で活動している芸術家等

- 「文化芸術活動」とは、ここでは文学、音楽、演劇、舞踊、美術、写真、デザイン、映画、マンガ、アニメーション、伝統芸能、大衆芸能、生活文化・国民娯楽などの分野における活動をいいます。
- 「個人で活動している」とは、個人事業主やいわゆるフリーランスとして仕事をされる方をいいます。（アルバイトやパートを含む雇用契約の下で働く方は除きます。）
- 「芸術家等」とは、文化芸術基本法第16条に定める以下の方をいいます。
 1. 文化芸術に関する創造的活動を行う者
 2. 伝統芸能の伝承者
 3. 文化財等の保存及び活用に関する専門的知識及び技能を有する者
 4. 文化芸術活動に関する企画又は制作を行う者
 5. 文化芸術活動に関する技術者
 6. 文化施設の管理及び運営を行う者
 7. その他の文化芸術を担う者

1. あなたの文化芸術活動における契約関係や取引について教えてください。

(1) あなたのこれまでの文化芸術活動において、依頼者や発注者との関係で以下のようなことがありましたか。（あてはまるもの全て）

- ① 依頼を受ける際に、報酬や業務内容、条件等が明示されなかった
- ② 業務内容や条件を一方的に変更された
- ③ 業務内容・範囲や条件についてもめた
- ④ 報酬の支払いが遅れたり、未払いや一方的な減額があった
- ⑤ 著作権等の権利が守られていないと感じることがあった
- ⑥ 公演等の中止・延期により、不利益を被った

- ⑦ 仕事を受けた事実や条件が書面等で記録に残っていなかったことで困った
- ⑧ 危険を感じることやハラスメントを受けることがあった
- ⑨ 報酬が低すぎたり、自分に過度の義務が課されるなど、不利な条件での仕事の受託を求められた
- ⑩ これらに当てはまることは特にない

(2) あなたのこれまでの文化芸術活動において、契約関係や取引において生じた課題や問題点等があれば、具体的にご記入ください。

(2-1) 業務内容に関して生じた問題

(2-2) 報酬や権利（著作権等）に関して生じた問題

(2-3) 公演等の中止や延期、変更等に関して生じた問題

(2-4) 作業・就業環境に関して生じた問題

(2-5) その他、契約や取引において不利益を被ったこと

(3) 契約書に記載／契約時に提示されることが望ましいと思う項目について、当てはまるものすべてを選択してください。

- ① 業務内容
- ② スケジュール（拘束日数や時間）
- ③ 場所
- ④ 報酬額
- ⑤ 支払期日
- ⑥ 支払方法
- ⑦ 著作権の取扱（生じる権利，帰属等）
- ⑧ 二次利用（利用範囲，報酬等）
- ⑨ 契約内容の変更
- ⑩ 一方の都合により契約を解約する場合の取扱（キャンセル料・損害賠償等の考え方を含む）
- ⑪ 一方の契約違反・違法行為等により契約を解除する場合の取扱（損害賠償の考え方を含む）
- ⑫ 双方共に責任を負わない理由（不可抗力）により契約を解約等する場合の取扱（キャンセル料等の考え方を含む）
- ⑬ 保険の加入
- ⑭ 安全衛生管理

- ⑮ ハラスメント
- ⑯ 個人情報保護
- ⑰ 秘密保持
- ⑱ その他（具体的にご記入ください）

(4) あなたが1年間に交わす契約件数を教えてください。(口頭やメール、メッセージ等での約束・合意を含みます)(期間や公演数等に関わらず、1つの企画・プロジェクトへの関わりを1件とカウントしてください。)

() 件程度

(5) あなたが過去に受けた契約・依頼のうち、契約期間が最短のもの、最長のものについて、それぞれの期間を教えてください。(単位もご記入ください(時間/日/週/月/年/終期なし等))

最も短い契約期間：

最も長い契約期間：

(6) 契約の全体件数のうち、書面(契約書、受発注書等名称は問わない)を交わしている割合はどの程度ですか。

- ① ほとんどの場合書面を交わしている(9割以上)
- ② 書面を交わしていることの方が多い(9割～6割程度)
- ③ 書面を交わすことと交わさないことが同程度(6割～4割程度)
- ④ 書面を交わさないことの方が多い(4割～1割程度)
- ⑤ ほとんど書面を交わさない(1割以下)
- ⑥ わからない

(7) 業務期間や内容、報酬額等によって、契約書(書面)の有無が分かると感じますか。どのように感じる方は、どのような場合に契約書があって、どのような場合に契約書がない(口頭やメール等のみ)という認識・印象か、具体的にご記入ください。

契約書がある場合：

(例：業務期間が長い場合(〇〇程度、〇〇以上等)、業務に〇〇を含む場合、報酬が多い/〇〇円以上の場合等)

契約書がない場合：

(例：業務期間が短い場合(〇〇程度、〇〇以下等)、業務に〇〇が含まれない場合、報酬が少ない/〇〇円以下の場合等)

(8) あなたの主たる取引形態は以下のどれに近いですか。

- ① 全て独立した個別の契約
- ② 包括的な契約（例：基本契約やマネジメント契約等）＋個別の出演依頼や発注
- ③ その他（具体的にご記入ください）

(9) 文化芸術分野における、適正な契約関係（契約の書面化等）の構築に向けて、どのようなサポートや取組があればいいと思いますか。

2. その他

(10) あなたが個人で仕事をする上で必要な事務作業や手続きに関して、外注したり知識を得たりしていますか（例：経理や税務、法律等）。取り組んでいることがあれば教えてください。（あてはまるもの全て）

- ① 会費や料金を払って、何らかのサービスを継続的に利用している
- ② 有料のセミナーや研修に参加している
- ③ 無料のセミナーや研修があれば参加している
- ④ インターネットや書籍等で情報収集している
- ⑤ 取り組みたいと思っているが、お金がなくてできない
- ⑥ 取り組みたいと思っているが、時間がなくてできない
- ⑦ 取り組む必要性を感じていない

(11) 直近1年間をそれ以前と比較した時に、あなたの周りの事業環境は良くなっていると感じますか。

- ① 良くなっている
- ② やや良くなっている
- ③ どちらとも言えない
- ④ やや悪くなっている
- ⑤ 悪くなっている

3. あなた自身のことについて教えてください。

(12) あなたの年齢について伺います。

- ① 20歳未満
- ② 20歳～30歳未満
- ③ 30歳～40歳未満

- ④ 40歳～50歳未満
- ⑤ 50歳～60歳未満
- ⑥ 60歳～70歳未満
- ⑦ 70歳以上

(13) あなたのご職業を教えてください。(主たるものを一つ)

- ① 音楽家(演奏家, 歌手, 作編曲家等)
- ② 俳優(役者, 声優, タレント, スタントマン等)
- ③ 舞踊家(ダンサー, バレリーナ等)
- ④ 文筆家, 漫画家, アニメーター
- ⑤ 美術家, 工芸家, 写真家等
- ⑥ 伝統的な芸能(雅楽, 能楽, 文楽, 歌舞伎, 組踊, 邦楽等)
- ⑦ 芸能(講談, 落語, 浪曲, 漫談, 漫才, 歌唱等)
- ⑧ 生活文化・国民娯楽(茶道, 華道, 書道, 食文化, 囲碁・将棋等)
- ⑨ 公演や映画・映像作品等の企画業務(制作等)
- ⑩ 公演や映画・映像作品等の技術スタッフ業務(美術, 照明, 音響技術, 撮影, メイク等)
- ⑪ 公演や映画・映像作品等に関わる事務スタッフ職
- ⑫ その他

(14) よろしければ, あなたのご職業について具体的に教えてください。

(15) あなたの直近1年間の全収入に占める文化芸術活動からの収入の割合を教えてください。

- ① 100%～75%
- ② 75%～50%
- ③ 50%～25%
- ④ 25%～0%

(16) あなたは文化芸術活動を続ける上で必要な組織に参加, 所属あるいは業務委託をしていますか。

- ① 専門職能の維持・向上, 文化芸術の振興を目的とする協会組織
- ② 劇団, 楽団, 舞踊団, 同人会など文化芸術創造活動を進める組織
- ③ 個人の仕事を紹介・仲介・プロモートするプロダクション・事務所
- ④ 個人マネージャー, 弁護士などを依頼している
- ⑤ 全て個人で仕事をしている

(以上)